

「第 17 回 西宮市都市交通会議 地域公共交通分科会」会議録

日 時：令和 2 年 3 月 26 日（木） 13：30～14：10

場 所：西宮市役所東館 8 階 大ホール

議 題：

1. 開会

2. 議事

議案第 1 号 さくらやまなみバス事業における課題と今後の対応について

3. 閉会

○委員名簿

役職名	氏 名	所 属 名	代理出席者
分科会長	土井 勉	一般社団法人グローバル交流推進機構 理事長	
委員	柴原 祐子	公募委員	
	中尾 縈子	公募委員	
	久保田 泰正	西宮コミュニティ協会 副理事長	
	松村 暢彦	愛媛大学大学院 理工学研究科 生産環境工学専攻 教授	欠席
	義浦 慶子	有識者（コンサルタント）	
	野津 俊明	阪急バス株式会社 自動車事業本部 営業企画部 部長	
	野口 一行	阪神バス株式会社 取締役 経営企画部 部長	
	松本 浩之	みなと観光バス株式会社 代表取締役	運行管理部 課員 中村 秀樹
	高野 重則	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 議長	
	水田 節男	公益社団法人兵庫県バス協会 専務理事	
	五十嵐 一俊	一般社団法人兵庫県タクシー協会 副会長	
	藤井 久暢	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 計画課 課長	欠席
	北条 達也	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 道路第2課 課長	欠席
	向井 宣彦	西宮市 土木局 道路部 部長	
	松尾 栄助	兵庫県西宮警察署 交通第一課 課長	
	中川 清澄	兵庫県甲子園警察署 交通課 課長	
	岩野 住之	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門 首席運輸企画専門官	企画調整官 喜多 信夫
	藤原 信一	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課 課長	
	芦田 涉	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 所長補佐（企画調整担当）	
	豆成 一郎	西宮市 都市局 都市計画部 部長	

議事内容

(1) 協議事項

・議案第1号 さくらやまなみバス事業における課題と今後の対応について

事務局よりさくらやまなみバス事業における課題と今後の対応について説明。

(分科会長) 御意見、御質問ございましたら、御発言をいただきたいと思います。

前回、運転士の人件費上昇により助成金は増額になるが、クロスセクター効果はそれ以上にあるという説明がありました。一方で、阪急バスによる事業改善の努力を求める話があり、今回はそれについても御説明がありました。この内容につきまして、皆さんから御意見いただきたいと思います。

(分科会長) 資料2 ページ目上段に利用促進策として経路検索の拡充が挙げられていますが、情報を載せることは大変重要です。また、モビリティマネジメントとは、基本的には色々な情報を聞いて、自分で考えて、自分の行動を変えていただくことです。例えば、自家用車ばかり使うのではなく、たまにバスを使うほうが、環境や健康等に良いということを踏まえ、バスがある生活というものを一度考え直してもらい、その上でバスを利用する機会を考えてもらうことがモビリティマネジメントにおいて非常に重要なことです。子供さんに知ってもらうことも大事ですが、一人一人が自分たちの生活を考え直し、移動をマネジメントしてもらえそうな仕組みができれば良いと思います。

(委員) 名塩さくら台において小学生を対象としたバスの乗り方教室を実施しているようですが、最近の子供たちは、車での移動が多くなり、公共交通機関の乗り方、切符の買い方、乗り方マナーなどの教育や機会が足りていないのではないかと大変危惧しています。名塩さくら台以外の小学生にも公共交通機関の役割や大切さ、マナーなどを学習する機会を与えてもらいたいと思います。

(分科会長) 西宮市全体でこのような取り組みをしてはどうかというお話ですが、事務局の考えをお願いします。

(事務局) バスの乗り方教室に限っていえば、名塩さくら台以外にも西宮浜の小学校で阪神バスさんの御協力を得て行った実績もありますが、改めて教育委員会等と相談しながら拡充できる部分はしていきたいと考えています。

(委員) 警察の方に運転免許証の自主返納サポート協議会がありますが、そこにさくらやまなみバスは加入されていません。山手の方では高齢者の運転が危ないが、免許証がないと動けないという現状がある中で、なぜこれに加入していないのか着任してずっと疑問に思っていました。資料を見て、多額の費用がかかり存続が危ぶまれていること、助成金を増やさないと運営が難しいことがわかりました。しかし、免許証を返納した経歴証明書を見せたらバスの運賃が半額になるなどの特典を設けたシステムなので、うまく行け

ば、半額になっても、それ以上の人が利用すれば、現状と変わらない。もしかしたら、プラスになるのではないかという促進の意味で検討されてもいいのではないかと思っており、実際、阪神バスさんは加入してもらい、半額で運営されています。警察としては、高齢者の事故を減らしたいので、自主返納サポート協議会に加入してもらいたいというのが本音です。逆転の発想ですが、検討していただけたらと思います。

(分科会長) 実際には高齢者もたくさん利用されているので、ぜひ事務局でも御検討いただけたらと思います。事務局から御説明いただけるようなことがありますか。

(事務局) 阪神バスさんが加入されていることは知っており、市議会からもそのような御質問をいただいておりますが、運行事業者である阪急バスさんは、阪神バスさんに比べて運行エリアが広く、経営にかなり影響があるという御判断で、なかなか踏み切れない状態と聞いております。現在は加入しておりませんが、今後の検討課題と認識をしております。

(分科会長) 料金割引があれば、ありがたい話ですが、運転が嫌だという人が増えてきたときに、こういうものがあると御紹介いただくだけでも大分変わってくると思いますので、無理のない範囲で取り組んでいくということが長く続ける秘訣かと思いますので、御検討いただけたらありがたいと思います。

(委員) 西宮市の小学生にはエコポイントカードが配付されていて、その中に公共交通を利用することは環境に優しいと記載されています。スーパーの場合、エコバックを持っていくとスタンプがもらえますが、その公共交通を利用してもスタンプがもらえません。子供はスタンプをもらうために行動するところがあるので、スタンプを押す手間が難しいとは思いますが、さくらやまなみバスさんの1日乗車券を購入された小学生等がいたら、スタンプを押してあげるとか、ちょっとした工夫でも利用促進や広報のきっかけになるのではないかと思います。

(分科会長) レジがあれば、毎回できそうですが、運転士さんにそこまでお願いするのは難しいと思いますので、1日乗車券など、スタンプを押すタイミングがあれば、子供は喜びますので、これもまた無理のない範囲で検討いただけたらありがたいと思います。

(委員) 市に確認ですが、ここでの議論としては、助成額を増額せざるを得ないということになると思いますが、一方で、国の助成額に対して増額等の働きかけはされる余地があるのか、または用意があるのかお聞かせください。運転士さんの待遇改善は西宮市に限った話ではなくて全国的な話だと思うので、国交省などもそういう意識を持っていただかなければならないことだと思います。

(事務局) 当然、担当者レベルでは既に運輸局さんと協議させていただいており、そのようなことも御検討願いたいとお話させていただいております。市としてはお願いを続けていく所存です。

(分科会長) 実際には、なかなか行財政の枠組みを広げていくことは、難しい時代のため、1つの補助金を増やすと他の補助金を減らすことになります。これで政策の優先順位が明確になっていきますが、公共交通は社会になくてはならないものなので、できるだけ優先順位を政策全体の中でも上げていくためには、多くの人たちの後押しが必要となります。ぜひ色々な形で、皆さんが問題意識を持っていただき、サポートが必要だと話をしていただけるとありがたいと思います。

特に他に御意見、御質問がなければ、この議題につきましては、以上とさせていただきます。

これまでの分科会での意見を踏まえ、市の対応策をこれから取りまとめ、次年度の西宮市都市交通会議で報告をいただくことにさせていただきたいと思います。

最後に、さくらやまなみバスだけではなく、公共交通は水や空気と同じようであって当然のように思われますが、分科会で皆さんお話いただいたように、色々と支えていかないと続いていけないということですので、支えていく仕組みを皆さんと一緒に考え、作りあげていくことで、よりよいサービスの公共交通が生まれるということになりますので、引き続き、この分科会や皆様の職場などで、このような話を続けていただけたらありがたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。